

ストロビルリン系殺菌剤（QoI剤）耐性イネいもち病菌の発生防止について

昨年（平成24年）、他県（山口県、島根県、愛媛県、福岡県、大分県）でストロビルリン系殺菌剤〔以下QoI（キューオーアイ）剤、表1〕に対して、耐性を示すイネいもち菌の発生が確認されました。岡山県では現在のところ、QoI剤の防除効果の低下事例は確認されていませんが、今後、岡山県における耐性菌の発生及び拡大を防ぐため、これまで以上にQoI剤の適正な使用方法を徹底してください。

（1）岡山県内における状況

- ・これまで、岡山県内でQoI剤耐性菌の発生が疑われるいもち病の多発事例やQoI剤に対する感受性の低下したいもち病菌は確認されていない。

（2）QoI剤の使用上の留意点

- ・QoI剤の使用は年1回のみとする。
- ・QoI剤を葉いもちに使用する場合は、初発前あるいは発生初期に、穂いもちの場合は薬剤の使用適期に散布する。
- ・QoI剤の箱施用を行なった圃場では、耐性菌の発生リスクを低減させるため、出穂期前後に他系統の薬剤（表2）で穂いもち防除を行なう。
- ・採種圃場ではQoI剤を使用しない。
- ・塩水選や圃場衛生管理、健全種子の購入、種子消毒の徹底など、いもち病防除の基本となる事柄を確実に実施する。

（3）今後の対応

- ・QoI剤の苗箱施用を行った苗床や本田で、葉いもちが発生した場合は、直ちに他の系統の薬剤（表2）を用いて防除する。
- ・QoI剤の防除効果の低下が疑われる場合は、速やかに病害虫防除所または農業普及指導センターへご連絡ください。

なお、農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど安全・適正に使用するようお願いします。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。

表1 イネいもち病に登録のある QoI 剤

成分名	商品名 ※
オリサストロビン	嵐
メトミノストロビン	イモチミン、イモチエース、オリブライト
アゾキシストロビン	アミスター

※これら商品には上記成分を含む混合剤もあります。

表2 QoI 剤を除く、いもち病に対する主な有効薬剤（本田剤）

系統名	成分名	商品名の例 ※
抵抗性誘導	プロベナゾール	オリゼメート
	イソチアニル	ルーチン
メラニン生合成阻害 (MBI-R)	ピロキロン	コラトップ
	トリシクラゾール	ビーム、サジェスト
	フサライド	ラブサイド
その他	イソプロチオラン	フジワン
抗生物質	カスガマイシン	カスミン
抗生物質・メラニン生合成阻害 (MBI-R)	カスガマイシン・フサライド	カスラブサイド、カスラブ、ホクセット
ベンゾイミダゾール	チオファネートメチル	トップジン M
有機リン	IBP	キタジン P
メラニン生合成阻害 (MBI-R)・その他	フサライド・フェリムゾン	ブラシン、ハスラー
	トリシクラゾール・フェリムゾン	ノンプラス、キクゾー
メラニン生合成阻害 (MBI-R)・抗生物質	トリシクラゾール・カスガマイシン	ダブルカット
メラニン生合成阻害 (MBI-R)・有機リン	トリシクラゾール・IBP	ビームジン

※これら商品には、上記成分を含む混合剤もあります。